

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
理事長 後藤 滋樹 殿

2020 年度 DRP 検討委員会  
委員長 井上 葵

2020 年度 DRP 検討委員会の活動についての報告 (案)

2020 年度 DRP 検討委員会のチャーター

2019 年度 DRP 検討委員会の活動を継続し、電子化の実装、シンポジウムの開催の検討を行う。さらに JP ドメイン名紛争処理方針(JP-DRP)およびその手続規則の改定要否などの検討を行い、JPNIC が必要な対応を実施するための提言を行う。

<2020 年度検討委員会での活動報告>

- ① 今年度の DRP 検討委員会では、2019 年度 DRP 検討委員会が答申した、JP-DRP 紛争処理方針および手続規則の改正を 2020 年 10 月 1 日に施行できるように対応しました。また、10 月 1 日から導入された、手続電子化に向けての対応を行ないました。
- ② 今年度の検討としては、新たに JP ドメイン名紛争処理方針および手続規則の改正については、実施を提言する項目はありませんでした。
- ③ 「JP ドメイン名紛争処理方針 (JP-DRP)」20 周年記念シンポジウムの企画を行い、JPNIC、JIPAC の共催での開催に向けての準備と当日プログラムを実施しました。
- ④ パネリスト候補者研修を、JPNIC、JIPAC の共催で、同年度内に初めて、2020 年 9 月と 2021 年 3 月の 2 回開催することを提言し、特に 2021 年 3 月は、新たに事例研究をコンテンツとして開催することを提言、準備して実施しました。
- ⑤ 今年度検討を行い、継続検討事項となっている、公開代行サービスへの対応、ミニマル・アプローチへの対応、WIPO との協力関係、英語による JP ドメイン名紛争処理手続については、引き続き DRP 検討委員会において検討することを提言します。
- ⑥ また、今年度は、2 回のパネリスト候補者研修が開催されましたが、来年度以降も複数回の開催実施について、コンテンツを工夫して実施することを提言します。

- ⑦ さらに、2020年10月に開始した、手続き規則の電子化については、しかるべきタイミングで、レビューを行い、必要に応じて改善を検討して頂きたい。

以上